

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	高津理容美容専門学校
設置者名	学校法人 古武学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
衛生専門課程	理容科	夜・通信	67 単位 (2010 時間)	7 単位 (160 時間)	
	美容科	夜・通信	67 単位 (2010 時間)	7 単位 (160 時間)	
(備考) 経過措置に基づき授業時数を併記する。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/course_subject.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	高津理容美容専門学校
設置者名	学校法人 古武学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/business_report.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	理容サロン・美容サロン 経営(1970.11.2～ 2018.3.31) 代表取締役(2018.4.1～)	2010.1.11 ～2029年度 定時評議委 員会の終結 の時まで	埋美容業界のニーズ を踏まえた教育方法 の提案
非常勤	元大学非常勤講師 (2018.4.1～2024.3.31) 現在無職 (2024.4.1～)	2018.4.1～ 2029年度定 時評議委員 会の終結の 時まで	授業計画作成の指 導、教育及び進路指 導に関する指導
非常勤	弁護士事務所経営 (1998.4.1～)	2019.1.11 ～2029年度 定時評議委 員会の終結 の時まで	法務・コンプライア ンスに関する指導・ 助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高津理容美容専門学校
設置者名	学校法人 古武学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各科目に、法定時間数を則り、1年間又は2年間の授業計画を作成している。 特に実技に関しては、その技能に分け細かく分類し、到達目標・到達度が明確に理解できるように、テスト期間とその内容をシラバスに明記しています。 学校ホームページに公表するとともに入学後、学生に「学生便覧」を配布し、オリエンテーション時に説明を行っています。																				
授業計画書の公表方法	https://www.kozu.ac.jp/gakko/syllabus/																			
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 1年を前期・後期に分け各期の修了月に成績判定テストを行います。 理容科・美容科の成績は「秀」・「優」・「良」・「可」・「不可」5段階 成績不良により「不可」もしくは「D」となった場合の補講授業の後、追試験を行う。 各教科の履修報告																				
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価については、絶対評価により判定する。履修科目ごとの成績をGP数値化し、全科目の平均で成績評価を行う。 成績のGP数値化基準 <table><tr><th>GP</th><th>成績評価</th><th></th></tr><tr><td>4</td><td>95～100点</td><td>秀</td></tr><tr><td>3</td><td>85～94点</td><td>優</td></tr><tr><td>2</td><td>70～84点</td><td>良</td></tr><tr><td>1</td><td>60～69点</td><td>可</td></tr><tr><td>0</td><td>0～59点</td><td>不可</td></tr></table>			GP	成績評価		4	95～100点	秀	3	85～94点	優	2	70～84点	良	1	60～69点	可	0	0～59点	不可
GP	成績評価																			
4	95～100点	秀																		
3	85～94点	優																		
2	70～84点	良																		
1	60～69点	可																		
0	0～59点	不可																		
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/diploma-policy.pdf																			
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。																				

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定方針は学則に記載しており、授業科目の成績評価や出席日数等により課程修了の卒業認定を行います。

履修認定・卒業認定

「各教科科目の履修認定に関する細則」に従う。履修判定は各教科科目の出席状況、態度、実績、試験結果の総合点で行い、60%以上の得点で履修認定とする。

所定の修業年限以上在籍し各学年で行う全ての教科について履修認定を得た者に対し卒業を認定します。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/diploma-policy.pdf>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	高津理容美容専門学校
設置者名	学校法人 古武学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/financial_statement.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/financial_statement.pdf
財産目録	https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/financial_statement.pdf
事業報告書	https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/business_report.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/financial_statement.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		衛生専門課程	理容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	67 単位 (2010 時間)	17 単位 (510 時 間)	0 単位 時間/ 単位	50 単位 (1500 時間)	0 単位 時間/ 単位	0 単位 時間/ 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		46 人	0 人	5 人	5 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとに2年間の授業計画を作成している。 特に実技に関しては、その技能に分け細かく分類し、到着目標・到達度が明確に理解できるように、テスト時期とその内容をシバラスに明記している。 これらは学校ホームページに公表するとともに、入学後、学生に「学生便覧」として配布し、オリエンテーション時に説明を行っている。
成績評価の基準・方法

(概要) 出席日数や授業科目の成績評価は学年末において、各学期末に行う試験や実習の成果履修状況等を総合的に勘案して行います。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定方針は学則に記載しており、授業科目の成績評価や出席日数等により課程修了の卒業認定を行います。
学修支援等
(概要) 入学オリエンテーションを行い、スムーズに学業に取り組めるよう指導しております。クラス担任は、入学後の面談実施やクラス日誌での状況確認を通じ、随時、学科長に相談できる体制が整備されており、必要に応じて個人面談・保護者面談が行われます。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15 人 (100%)	0 人 (0%)	14 人 (93.3%)	1 人 (6.7%)
(主な就職、業界等) 理容業界			
(就職指導内容) 就職指導者による相談			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理容師国家資格等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40 人	9 人	22.5%
(中途退学の主な理由) 学校生活不適應・学業不振・人間関係・自己都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による生活指導・授業料数不足または成果由不良による補習授業の実施・三者面談・個人面談・保護者連絡・職員情報共有		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		衛生専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	67 単位 (2010 時間)	17 単位 (510 時 間)	0 単位 時間/ 単位	50 単位 (1500 時間)	0 単位 時間/ 単位	0 単位 時間/ 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
640 人		315 人	0 人	30 人	32 人	62 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとに2年間の授業計画を作成している。 特に実技に関しては、その技能に分け細かく分類し、到着目標・到達度が明確に理解できるように、テスト時期とその内容をシバラスに明記している。 これらは学校ホームページに公表するとともに、入学後、学生に「学生便覧」として配布し、オリエンテーション時に説明を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 出席日数や授業科目の成績評価は学年末において、各学期末に行う試験や実習の成果履修状況等を総合的に勘案して行います。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定方針は学則に記載しており、授業科目の成績評価や出席日数等により課程修了の卒業認定を行います。
学修支援等
（概要） 入学オリエンテーションを行い、スムーズに学業に取り組めるよう指導しております。クラス担任は、入学後の面談実施やクラス日誌での状況確認を通じ、随時、学科長に相談できる体制が整備されており、必要に応じて個人面談・保護者面談が行われます。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
150 人 (100%)	2 人 (1.3%)	146 人 (97.4%)	2 人 (1.3%)
(主な就職、業界等) 美容業界			

(就職指導内容) 就職指導者による相談 年2回の就職フェア
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師国家資格等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
313 人	29 人	9.3%
(中途退学の主な理由) 学校生活不適応・学業不振・人間関係・進路変更・自己都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による生活指導・授業料不足または成果不良による補習授業の実施・三者面談・個人面談・保護者連絡・職員情報共有		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
理容科	120,000 円	780,000 円	410,000 円	施設維持費、研修費・諸費用
美容科	120,000 円	780,000 円	410,000 円	施設維持費、研修費・諸費用
修学支援(任意記載事項)				
◇学生が活用できる経済支援				
・高等教育の修学支援制度				
・日本学生支援機構 奨学金				
・提携教育ローン((株) オリエントコーポレーション、(株) 三井住友銀行)				
◇教育支援制度				
①2年次進級時 教育費用支援制度				
②コンテスト費用支援制度				
◇遠方からの入学者が安心して学べる提携学生寮				
・カレッジルーム パオ				
・アネックス パオ				
・カサ デ パオ				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/self-assessment.pdf		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
委員数 8～20 名とし、大阪近郊の理容・美容、その関連業界の代表的企業の経営者、及び本校卒業生により構成されており年 1 回開催され結果は理事会にて検討し改善点として活用されています。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
企業経営者	2013. 4. 1～2027. 3. 31 (任期更新)	企業等委員
企業経営者	2023. 4. 1～2027. 3. 31 (任期更新)	企業等委員
企業経営者	2014. 4. 1～2027. 3. 31 (任期更新)	企業等委員
理容サロン経営者	2023. 4. 1～2027. 3. 31 (任期更新)	企業等委員
美容サロン経営者	2025. 4. 1～2027. 3. 31 (新規就任)	企業等委員
美容サロン経営者	2025. 4. 1～2027. 3. 31 (新規就任)	企業等委員
美容サロン経営者	2025. 4. 1～2027. 3. 31 (新規就任)	企業等委員
美容サロン経営者	2025. 4. 1～2027. 3. 31 (新規就任)	学園卒業者等
美容スタイリスト	2021. 4. 1～2027. 3. 31 (任期更新)	学園卒業者等
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/party-assessment.pdf (名称) 学校関係者評価		
(備考)		
第三者評価未実施の為学校関係者評価を記載		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kozu.ac.jp
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H127310000344
学校名（〇〇大学等）	高津理容美容専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園等）	学校法人 古武学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		116人（ 70 ）人	108人（ 59 ）人	119人（ 70 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	45人	39人	
	（うち多子世帯）	（ 15人）	（ －人）	
	第Ⅱ区分	－人	－人	
	（うち多子世帯）	（ －人）	（ －人）	
	第Ⅲ区分	－人	－人	
	（うち多子世帯）	（ －人）	（ －人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	17人	16人	
	区分外（多子世帯）	29人	30人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				119人（ 70 ）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期	
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	一人	0人	
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	0人	0人	
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	一人	一人	
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人	
計	人	一人	一人	
(備考)				

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	一人
訓告	0人
年間計	一人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	0人	14人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	一人	19人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	一人	0人
計	人	27人	19人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。